令和7年度水道局運営方針【改定履歴】 令和7年4月公表版からの変更点と変更理由

太字は変更箇所

| 変更箇所 | 令和7年度水道局運営方針 | 令和7年度水道局運営方針 | 変更理由 |
|-----------|-------------------------|----------------------------|-------------------|
| | (令和7年9月1日公表) | (令和7年4月14日公表) | 友 史珪田 |
| 経営課題1 安全 | ・浄水施設の適正規模化と上町断層帯地 | ・浄水施設の適正規模化と上町断層帯地 | ・記載内容の簡素化を図るため。 |
| でおいしい水道水 | 震対策としての耐震化を図る柴島浄水場 | 震対策としての耐震化を図る柴島浄水場 | |
| の安定的な供給 | 再構築事業における新系統(日量30万㎡) | 再構築事業における新系統 日量30万㎡) | |
| | の整備事業の着工[令和9年度中] | の整備事業の着工 [令和 9 年度中] (令和 | |
| アウトカム指標 | | 7年度中に整備計画を策定) | |
| (経営課題の解決 | | | |
| に向けた進捗度合 | | | |
| を示した指標) | | | |
| 経営課題 2 時代 | 水道局への各種申請・届出等のオンライ | | ・マイページについては、令和9年度 |
| に即したお客さま | ン化によるお客さまサービスの向上 | | 末の登録者数の目標値を、実績を踏ま |
| サービスの提供 | | | え上方修正するとともに、令和7年度 |
| | ・お客さま専用サイト(マイページ)の登 | | 運営方針に新たに記載を追加した。 |
| アウトカム指標 | 録数:全給水契約数の 25%以上[令和9 | | ・その他、記載内容の簡素化を図るた |
| (経営課題の解決 | 年度末] | | め。 |
| に向けた進捗度合 | ・水道の使用開始・中止の申込みの受付完 | ・水道の使用開始・中止の申込みの受付完 | |
| を示した指標) | 了通知のオンライン化の実施 [令和 10 年 | 了通知のオンライン化の実施 [令和 10 年 | |
| | 度中] | 度中](令和7年度中にオンライン化を可 | |
| | | 能とする新システムの仕様書の完成) | |
| | ・管路資材の承認の申請及び都市計画法 | ・管路資材の承認の申請及び都市計画法 | |
| | に基づく開発許可の協議の申請の受付と | に基づく開発許可の協議の申請の受付と | |

| | 承認等の通知のオンライン化の実施 [令 | 承認等の通知のオンライン化の実施 [令 | |
|------------|------------------------|-----------------------------------|-----------------|
| | 和8年度中] | 和 8 年度中] (令和 7 年度中に行政オンラ | |
| | | インシステムでの申請受付完了通知の機 | |
| | | 能を実装した申請フォーム及び承認等通 | |
| | | 知機能を実装したフォームの完成) | |
| | ・指定給水装置工事業者の新規登録・更新 | ・指定給水装置工事業者の新規登録・更新 | |
| | 等の申請のオンライン化の実施 [令和 12 | 等の申請のオンライン化の実施 [令和 12 | |
| | 年度中] | 年度中](令和 7 年度中にシステム発注に | |
| | | かかる仕様書の作成に着手) | |
| 経営課題3 持続 | ・浄・配水場の報告書・作業記録の作成に | ・浄・配水場の報告書・作業記録の作成に | ・記載内容の簡素化を図るため。 |
| 性確保のための経 | ついて、自動化することができるツール | ついて、自動化することができるツール | |
| 営基盤の維持・強化 | を調査し、有効性が確認できたものから | を調査し、有効性が確認できたものから | |
| | 順次導入[令和9年度中に導入可否判断] | 順次導入[令和9年度中に導入可否判断] | |
| アウトカム指標(経 | | (令和7年度中にタブレット端末及び通 | |
| 営課題の解決に向 | | 信装置を導入) | |
| けた進捗度合を示 | ・柴島浄水場の新系統(日量 30 万㎡)の | ・柴島浄水場の新系統(日量 30 万㎡)の | |
| した指標) | 整備事業において、事業期間の短縮・事業 | 整備事業において、事業期間の短縮・事業 | |
| | 費の削減に加え新技術の導入や効果的な | 費の削減に加え新技術の導入や効果的な | |
| | 技術継承など事業実施効果を高めること | 技術継承など事業実施効果を高めること | |
| | ができる官民連携手法の活用を検討[令 | ができる官民連携手法の活用を検討[令 | |
| | 和9年度中に整備事業を着工] | 和9年度中に整備事業を着工](令和7年 | |
| | | 度中に検討結果を踏まえた整備計画を策 | |
| | | 定) | |
| | ・水道センターの管路維持管理業務の一 | ・水道センターの管路維持管理業務の一 | |
| | 部(管路保全業務)の外郭団体への委託 | 部(管路保全業務)の外郭団体への委託 | |
| | • | | |

| [令和8年度年央から実施] | [令和 8 年度年央から実施](令和7年度 中に委託に係る業務仕様書を完成) | |
|---------------|---|--|
| | | |
| | | |
| | | |